

ボストン美術館

浮世絵名品展

鈴木春信

HARUNOBU FROM THE MUSEUM OF FINE ARTS, BOSTON



時は江戸、恋初々しく。

2017年

11月3日(金)祝 ~ 1月21日(日)

2018年

開館時間 平日 午前10時 ~ 午後7時

土・日・祝・休日 午前10時 ~ 午後5時 ※入館は閉館時間の30分前まで

休館 日 月曜日 ※祝日・振替休日の場合はその翌日、年末年始(12月25日 ~ 1月1日)

主催 名古屋ボストン美術館、ボストン美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知 共催 中日新聞社

後援 アメリカ大使館、愛知県、名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋商工会議所

特別協賛 ワズリテイ 技信 協賛 大伸社

協力 日本航空、近畿日本鉄道、東海旅客鉄道、名古屋市交通局、名古屋鉄道、ANAクラウンプラザホテルグランド名古屋、エスカ、中部国際空港 ユニモル



名古屋ボストン美術館
NAGOYA / BOSTON MUSEUM OF FINE ARTS

JR・地下鉄・名鉄「金山」駅下車 金山駅南口前

浮世絵の革命児、その名は“春信”。ボストン美

鈴木春信(1725?-1770)は、錦絵創始期の第一人者として知られる浮世絵師です。若い恋人たち、母と子、さりげない日常、古典主題から発想された見立絵・やつし絵など、春信は小さな画面の中に詩的で洗練されたイメージを豊かに表現しました。また江戸の評判娘や名所を主題に取り入れ、錦絵の大衆化にも貢献しました。本展では、質・量ともに世界最高の春信コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品から、選りすぐりの春信作品とともに、この絵師を育んだ時代の気風を伝える他の絵師の作品を加えた約150点を紹介します。希少な春信作品は、ほとんどが海外に所蔵されることから、日本国内で作品を見る機会は大変限られています。本物と出会える最高の機会を是非お楽しみください。



錦絵の誕生

春信の時代以前には、筆彩色や2・3色程度の素朴な色摺の版画(紅摺絵)しかありませんでした。ところが武家や裕福な商人の間で流行した絵暦交換会をきっかけに、多色摺木版画技法が発達し、彩り豊かな錦絵が誕生したのです。



隠された主題

古典の物語や故事、和歌を江戸の今の光景に置き換えて描いた見立絵、やつし絵と呼ばれる作品は、主題を読み解く楽しみを与えてくれます。



時代の寵児

春信の美人画は一大ブームを巻き起こします。同時代に活躍した他の絵師たちも、こぞって春信の美人画に倣い、没後に至るまでその画風は慕われました。



紙質の良さを味わう

比較的裕福な層に好まれた春信の作品は、高級な奉書紙に摺られました。紙の白さや風合いも美意識の一つであり、特に要所に施された空摺は、工芸品のような美しさです。